

2011年度事業報告書

2011年 4月 1日から2012年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 NPOコミュニケーション支援機構

1 事業の成果

昨年の10から倍増して、21のプロジェクトをサポートした一年となった（成立しなかったプロジェクト4件含まず）。今年に入ってから、4件/月程度依頼が入ってくるようになっており、サポート体制の充実化も求められている。

a. 「対話」が多いプロジェクト進行を。

多忙な社会人が多いため、直接「対話」する機会は頻繁に持つことは難しかったが、コミュニケーションツールを、「フレッシュミーティング」から、「facebook」「サイボウズLive」に移行することで、スピード感がより増した。（スマートホンからも利用できるなどの利便性の面で）

b. プロジェクトが生む「価値」に、よりフォーカスしたプロジェクトを。

「価値」に関する定量的な手法については十分に議論できていないが、プロジェクト依頼時に広報コンサルティングを行うことによって、プロジェクトベースでは、目的、達成目標、課題を整理した上で、プロジェクトを始めるようになった。

c. 専門グループの活性化を。

スキル別や興味分野別のfacebookグループを作成し、a-conの人材データベースとする仕組みを運用し始めた。データベースを充実させていくことで、プロジェクト依頼があった際に、スムーズにチームづくりが行えることを想定しているが、まだ機能できていない。

「ぐらん草の根基金」によって、都内を中心に「npo-co」を隔月で300部以上配布することができた。また、npo-coを通してa-conのサポート事例を発信することで、新規の依頼にもつながるなどの成果が見えつつある。3月に「ゆめ応援ファンド」の助成金にも採択され、次年度は更に広域に配布することでa-conの知見が社会に還元されていく仕組みが構築されつつある。

2011年に設定した目標の達成度は6割方達成されたといえます。

サポートプロジェクトを実行・支える仕組みが整いましたが、実際に運用するということところで課題が見えてきています。運営委員を中心とした、一部のスタッフへの過度な負担がかかっている現状があり、やるべきことの選択と集中、また誰でもできる仕組みを作り分散化していくことを検討していく必要があります。また、プロジェクトの進捗をより見える化していくことも、a-conの内外に対するコミュニケーションとして考えていかなければなりません。

次年度も引き続き、相互にフォローしあい、楽しく、価値を生み出すプロジェクトをつくっていけるように、みんなで「対話」をして考えていきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
非営利活動団体に対して行うコンサルティング事業及び広報活動に関するセミナー開催に係る事業	非営利活動団体に対して行うコンサルティング事業及び広報活動に関するセミナー開催	通年	首都圏近郊	20人	非営利活動団体	150

非営利活動団体に対するコンサルタント事業、広報支援又はインターネット技術の支援に係る事業	非営利活動団体に対するコンサルタント事業、広報支援又はインターネット技術の支援	通年	首都圏近郊	30人	支援される非営利活動団体	533
地域の住民に対する非営利活動の啓発及び普及を図るためのイベント又はセミナーに係る事業	地域の住民に対する非営利活動の啓発及び普及を図るためのイベント又はセミナー	通年	日本全国	30人	地域の住民	100

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)